



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 日新商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7490 URL <https://www.nissin-shoji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 柴崎 正典

TEL 03-3457-6254

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,034	1.0	23		49		52	
2019年3月期第1四半期	15,183	8.6	85		10		13	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 5百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 76百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.78	
2019年3月期第1四半期	2.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	32,306	17,820	54.3
2019年3月期	32,368	17,880	54.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 17,543百万円 2019年3月期 17,628百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		9.00		9.00	18.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		9.00		9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	0.0	350	12.3	480	2.9	270	16.9	40.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループは年次による業績管理を行っておりますので、通期の業績予想のみを開示しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	7,600,000 株	2019年3月期	7,600,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	873,496 株	2019年3月期	873,496 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,726,504 株	2019年3月期1Q	6,726,561 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加や個人消費の持ち直しなど緩やかな回復基調となる一方、米中をはじめとする通商問題等の海外経済の減速が輸出企業の重荷となり、景気全体では足踏み状態となりました。

石油製品販売業界におきましては、米国によるイラン産原油の輸入を認める特例措置の打ち切りの発表を受け、原油価格は4月から5月中旬まで70ドル台で推移いたしました。その後米国による中国やメキシコへの追加関税の発表による原油需要減少の懸念から下降に転じました。石油製品価格は原油価格の動向を受けて、4月から緩やかな上昇基調で推移した後、5月中旬から緩やかな下降基調で推移いたしました。国内石油製品需要は、自動車の低燃費化等によるガソリン需要の減少等があったものの、堅調な軽油やナフサ需要の影響等により、全体として前年同期並みの需要となりました。

再生可能エネルギー業界におきましては、固定価格買取制度の買取価格の引下げ等の影響を受け、太陽光発電設備の導入ペースは鈍化傾向にあります。一方、中古太陽光発電所を取引するセカンダリー市場は更に拡大が見込まれます。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、石油関連事業の卸部門において一部販売店の閉鎖に伴い燃料油の販売数量が減少したことや、再生可能エネルギー関連事業において太陽光発電関連機器の販売が減少したこと等により売上高は15,034,572千円（前年同期比1.0%減）となりました。また、石油関連事業において石油製品の販売環境が改善したことに加え、再生可能エネルギー関連事業において昨年8月から連結子会社であるNSM諏訪ソーラーエナジー合同会社の太陽光発電所が売電を開始したこと等により、営業損失は前年同期に比べ改善し23,866千円（前年同期は営業損失85,472千円）、経常利益は49,585千円（前年同期は経常損失10,132千円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、52,329千円（前年同期は四半期純損失13,492千円）となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次のとおりであります。

<石油関連事業>

(直営部門)

直営部門につきましては、前第3四半期に他社保有3SSの運営継承を行ったこと等により、燃料油の販売数量が増加したことやカーメンテ商材の販売が増加したこと等により、売上高は前年同期比1.7%増の5,733,702千円となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、一部販売店の閉鎖に伴い燃料油の販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比6.0%減の2,094,674千円となりました。

(直需部門)

直需部門につきましては、法人向け燃料油カードの発券枚数増加などガソリンや軽油の販売は堅調に推移したものの、重油の販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期並みの5,278,085千円となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、農業資材の販売は昨年度から注力していた顧客への販売が進んでいることや海外への輸出も増加したこと等により、堅調に推移いたしました。しかしながら、石油化学製品の販売数量が減少したことや昨年と比べ販売価格が下がったこと等により、売上高は前年同期比5.0%減の919,320千円となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、液化石油ガスの販売数量が減少したこと等により、売上高は前年同期比4.7%減の295,683千円となりました。

<再生可能エネルギー関連事業>

再生可能エネルギー関連事業につきましては、太陽光発電関連機器の販売が減少したこと等により、売上高は減少いたしました。売電事業は昨年8月から連結子会社であるNSM諏訪ソーラーエナジー合同会社の太陽光発電所が売電を開始したこと等により、売上高は増加いたしました。その結果、再生可能エネルギー関連事業全体の売上高は前年同期比31.6%減の209,796千円となりました。

<外食事業>

外食事業につきましては、ケンタッキーフライドチキン店は1店舗を閉鎖し、新たに2店舗を運営継承したこと等により、売上高は増加いたしました。タリーズコーヒー店は、前年度に1店舗を閉鎖したこと等により、売上高は減少いたしました。その結果、外食事業全体の売上高は前年同期比11.6%増の348,249千円となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、新たに賃貸マンションであるエディアン目黒本町の稼働が始まったこと等により、売上高は前年同期比8.7%増の155,059千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ、62,067千円減少し、32,306,682千円となりました。これは、関係会社株式が402,536千円、繰延税金資産が152,999千円増加したものの、現金及び預金が246,978千円、受取手形及び売掛金が290,638千円、投資有価証券が202,768千円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ、1,855千円減少し、14,485,958千円となりました。これは、未払金が93,702千円、前受金が134,668千円、繰延税金負債が124,149千円増加したものの、支払手形及び買掛金が188,395千円、賞与引当金が113,595千円、未払法人税等が118,492千円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、60,212千円減少し、17,820,723千円となりました。これは、非支配株主持分が24,936千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が77,257千円減少したことなどによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ、12.65円減少し、2608.07円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました業績予想から変更いたしません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,355,436	3,108,458
受取手形及び売掛金	7,629,726	7,339,088
商品及び製品	893,044	944,011
その他	520,881	603,165
貸倒引当金	△17,113	△13,660
流動資産合計	12,381,975	11,981,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,643,443	3,637,841
土地	5,688,627	5,688,627
その他(純額)	3,865,471	3,863,432
有形固定資産合計	13,197,542	13,189,901
無形固定資産	306,292	304,323
投資その他の資産		
投資有価証券	4,184,795	3,982,026
関係会社株式	1,128,710	1,531,247
その他	1,259,704	1,408,187
貸倒引当金	△90,271	△90,067
投資その他の資産合計	6,482,939	6,831,393
固定資産合計	19,986,774	20,325,618
資産合計	32,368,749	32,306,682
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,943,564	1,755,168
短期借入金	2,684,346	2,284,346
未払法人税等	134,937	16,444
賞与引当金	238,017	124,421
役員賞与引当金	12,000	2,750
資産除去債務	4,951	-
その他	1,023,887	1,365,302
流動負債合計	6,041,704	5,548,434
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	5,600,147	5,987,647
繰延税金負債	300,353	424,502
商品保証引当金	6,300	6,300
退職給付に係る負債	935,575	923,739
資産除去債務	215,731	224,084
その他	588,001	571,250
固定負債合計	8,446,109	8,937,524
負債合計	14,487,813	14,485,958

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,281,625	3,281,625
利益剰余金	9,747,555	9,733,861
自己株式	△643,445	△643,445
株主資本合計	16,009,734	15,996,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,691,844	1,614,586
為替換算調整勘定	△11,264	△10,888
退職給付に係る調整累計額	△62,004	△56,578
その他の包括利益累計額合計	1,618,575	1,547,120
非支配株主持分	252,625	277,562
純資産合計	17,880,935	17,820,723
負債純資産合計	32,368,749	32,306,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	15,183,119	15,034,572
売上原価	13,620,476	13,301,755
売上総利益	1,562,642	1,732,816
販売費及び一般管理費	1,648,114	1,756,683
営業損失(△)	△85,472	△23,866
営業外収益		
受取利息	1,612	1,293
受取配当金	69,103	73,144
持分法による投資利益	3,644	431
その他	41,724	48,072
営業外収益合計	116,084	122,941
営業外費用		
支払利息	29,195	37,124
その他	11,549	12,364
営業外費用合計	40,745	49,489
経常利益又は経常損失(△)	△10,132	49,585
特別利益		
投資有価証券売却益	-	45,619
受取保険金	-	25,497
特別利益合計	-	71,116
特別損失		
減損損失	-	23,089
工事請負契約解約損	-	9,400
特別損失合計	-	32,489
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△10,132	88,212
法人税、住民税及び事業税	9,270	8,529
法人税等調整額	6,354	3,014
法人税等合計	15,624	11,543
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,757	76,669
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,265	24,339
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,492	52,329

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,757	76,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,861	△77,625
為替換算調整勘定	△637	376
退職給付に係る調整額	1,979	5,426
持分法適用会社に対する持分相当額	△583	367
その他の包括利益合計	△51,103	△71,454
四半期包括利益	△76,861	5,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,596	△19,125
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,265	24,339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	14,421,478	306,814	312,120	142,704	15,183,119	—	15,183,119
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	12,533	12,533	△12,533	—
計	14,421,478	306,814	312,120	155,237	15,195,652	△12,533	15,183,119
セグメント利益 又は損失(△)	△36,112	△11,785	△25,022	99,765	26,845	△112,317	△85,472

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△112,317千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る経費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	14,321,467	209,796	348,249	155,059	15,034,572	—	15,034,572
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	12,499	12,499	△12,499	—
計	14,321,467	209,796	348,249	167,558	15,047,072	△12,499	15,034,572
セグメント利益 又は損失(△)	△18,946	40,408	△14,733	81,528	88,256	△112,123	△23,866

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△112,123千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る経費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「石油関連事業」セグメントにおいて、事業所の閉鎖が決定されたこと等により、また「外食事業」セグメントにおいて事業環境の激変による収益性の悪化により、回収可能性が認められなくなった事業資産について減損損失を特別損失に計上しております。なお当該減損損失計上額は「石油関連事業」において8,049千円、「外食事業」において15,040千円であります。